

第2回病院ボランティア研修会の報告

10月28日 救急科 佐藤圭路先生に講師となって頂き、「AEDの使用方法について」学びました。病院ボランティアの活動場所は外来、患者図書室、小児科プレイルーム、花壇などです。病院内で、又は街中で人が倒れていたら・・・ということ想定して心肺蘇生法、AEDの使用方法について繰り返し実践し、救命の大切さを学びました。



ボランティア感謝状贈呈式・懇親会の報告

当院には、患者様が安心して院内で過ごせるようにボランティアの方が活動されています。日頃の活動に感謝の意を表して、病院長より感謝状が贈られました。また懇親会も行い、ボランティアさんと職員も交流し、和やかな時間を過ごしました。

平成27年度表彰者			
谷 みどり	1000 時間以上	難波 富美子	200 時間以上
井田 竹美	500 時間以上	藤原 知子	200 時間以上
石原 順子	500 時間以上	須田 厚子	200 時間以上
能勢 絹子	200 時間以上	児玉 恵子	200 時間以上
野田 直子	200 時間以上	延本 一美	200 時間以上
森谷 勝彦	200 時間以上	黒崎 章男	200 時間以上



桃太郎がんメディカルカフェのお知らせ

今回で8回目を迎えるメディカルカフェのお知らせです。患者さん、ご家族だけでなく、医療従事者も一参加者として集い、心の豊かさや人生観、生き方について自由に語り交流する場です。いつでも出入り自由で、人数制限もありません。通院先の医療機関も問いませんので、関心のある方は是非ご参加ください。

日時 2016年3月11日(金)13:30~15:30

場所 岡山大学病院 マスカットキューブ3階

対象 がん患者・家族、医療スタッフ、学生、その他関心のある方

参加費 お茶代として100円

お問い合わせ・申し込み先:岡山大学病院 総合患者支援センター TEL 086(235)7744



認知症疾患医療センター市民公開講座のお知らせ

当院は平成24年に認知症疾患医療センターの指定を受け、認知症医療に関する情報や認知症疾患医療センターの役割を広く市民へ知っていただくことを目的として市民公開講座を毎年開催しています。今年度は「認知症予防とエイジングケア」をテーマに、岡山大学病院神経内科病院講師菱川望先生による講演とヨーガインストラクター・アーユルヴェーダ講師高橋依子先生によるエクササイズを予定しております。

近年、生活習慣病と認知症の関連性について指摘されており、若々しさを保つためのエイジングケアも認知症予防のために重要だと思われまます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2016年3月13日(日) 10:00~12:00(受付9:30~)

場所 岡山大学病院 マスカットキューブ

内容 講演1 「生活習慣と記憶とこころ」 岡山大学病院 神経内科 病院講師 菱川 望

講演2 「エクササイズでエイジングケア」 ヨーガインストラクター・アーユルヴェーダ講師 高橋 依子

お問い合わせ・申し込み先:岡山大学病院 医事課医療連携係 TEL 086(235)6499

総合患者支援センターニュース

〒700-8558

岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

岡山大学病院

総合患者支援センター

☎086-223-7151 (代表)

☎086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning

Okayama University Hospital



センターの活動に関してはホームページ
(<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)
をご覧ください。

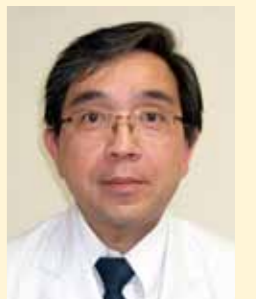
新年のご挨拶



岡山大学病院 総合患者支援センター
地域医療連携部門 副センター長 合地 明

新年あけましておめでとうございます。旧年中は岡山大学病院総合患者支援センターの活動に多大なご高配を賜り、深謝申し上げます。

岡山大学病院総合患者支援センターは患者相談・退院支援などで患者様をサポートする患者支援部門を中心に発展してきました。その後組織改編により統合された地域医療連携部門に関しては、整備段階で医療機関の皆様方には何かとご迷惑をおかけいたしておりますが、本年も更なる飛躍を目指して、様々な改善を企画しております。



現在、病病・病診連携の推進ならびに地域包括ケアの実現に努力しております。このような中において地域連携ネットワーク『晴れやかネット』を積極的に活用、紹介いただきました患者様の電子カルテの全開示に取り組んでおります。現在、1650名の方の同意をいただき、紹介医の先生方と情報共有を行っており、連携医療機関の先生方からも好評を得ております。また、患者様にとっても『専門医とかかりつけ医の二人主治医』による安心した療養環境の提供、さらに退院調整においても事前に患者様の詳細な状況を確認していただくことが可能となり、シームレスな連携が可能となっております。

さらに本年より、従来一部の内視鏡検査において行っておりましたオンライン予約(『晴れやかネット』を利用)を外来診察医の予約取得においても拡大開始します。これにより、いままで時間がかかっていた外来診察予約も即時取得が可能となり、先生方・患者様のストレスも減るものと考えております。

また、総合患者支援センターでは新たに立ち上がった入院支援室や周術期管理センターと協力して、外来から入院治療に向けてのスムーズな流れを支援しています。

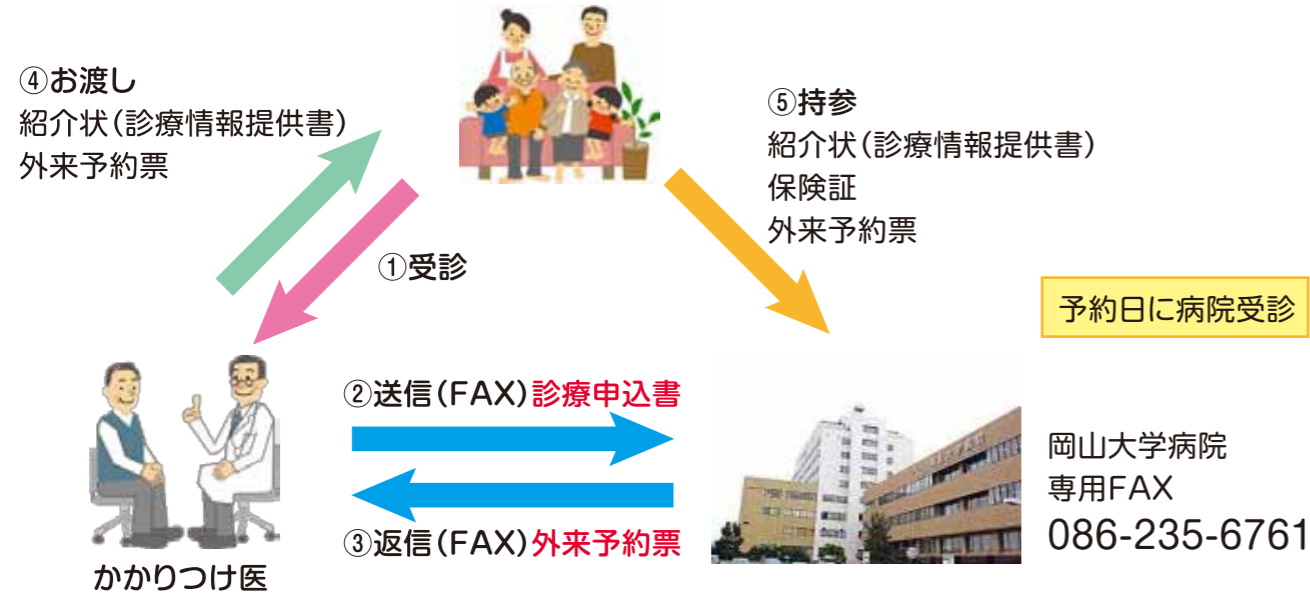
本年もスタッフ一同、患者様の診療における様々な場面における支援を提供させていただく所存です。どうぞよろしく願い申し上げます。

地域医療連携部門の各業務内容の紹介

◎外来予約の流れ

患者さんの情報を、紹介元医療機関(かかりつけ医)から、FAXで事前にご連絡いただくことによって、予約をお受けし、優先的に診察させていただきます。

『晴れやかネット』を利用したオンライン診療予約も近日中に導入します。



◎病診・病病連携(専門病院と地元医師の二人主治医制)の推進

当院は、患者さんの同意をもとに、患者さんの診療情報を共有し役立てる「晴れやかネット(岡山県)」に参加しております。初診で来院された患者さんには、同意書を配布し、紹介元医療機関(かかりつけ医)に当院のカルテを開示する同意を積極的に得る取組みをしております。当院で受けた各種検査・画像等の診療情報を、かかりつけ等医師に閲覧していただき、地元での適切な診断・治療を受けていただけるように支援しています。

また、当院は地域へ根ざした病院として地域の医療機関との連携をさらに深め、より円滑な医療の連携を行うために、岡山大学病院地域医療連携の趣旨に賛同していただいた病院や診療所に「連携医療機関認定証」を発行しております。「連携医療機関認定証」を発行した医療機関は、外来棟1階ロビーに掲示しております。

◎セカンドオピニオン外来について(平成18年2月1日開設)

セカンドオピニオンとは、ご自身の診療内容等について、担当医以外(他施設を含めて)の専門医に治療法等につき助言・意見を求めることで、患者さん自身が、自らの治療に対して最良の方法を選択する上で参考となるものです。

*対象者…患者さん本人あるいは患者さんの同意を得たご家族の方(同意書、患者さんとの続柄を確認できる書面が必要となります。)

*相談に際して必要なもの…『診療情報提供書』(セカンドオピニオン用)

『検査資料』血液検査、超音波検査、CT検査、MRI検査等の画像

『相談同意書』…相談者がご本人以外の場合

*相談時間と費用…完全予約制(予約後、当院から患者さんへご連絡。)*全額自費負担・保険適用無し
費用 30分未満 21,000円(消費税込) / 30分以上 42,000円(消費税込)

*セカンドオピニオン外来受診の申込みや問い合わせ

医事課地域医療連携室

(電話)086-235-6758 / (FAX)086-235-6761

「母乳育児相談室」は12年目を迎えました

岡山大学大学院保健学研究科 大井 伸子

平成16年4月に総合患者支援センターでの専門相談活動として、母乳育児に関する相談やケアを行うことを目的に「母乳育児相談室」を開設しました。毎週金曜日に予約制で行っていますが、緊急時などには随時対応しています。相談者の方々は、岡山大学病院で出産された方やお子様が入院されているお母さまが中心ですが、他の施設で出産した方からの相談もあります。通常の場合は総合患者支援センター内にある相談室で対応していますが、お子さまが入院されている東2階や西2階の病棟へお伺いすることもあります。



12年目を迎えましたが、相談件数は開設以来年々増加し平成26年度は483件で、山陽新聞でも紹介されました。現在、周産母子センターや産科外来のスタッフ、また地域の開業助産師の方々と連携して活動を行っています。母乳育児や離乳食のすすめ方、また卒乳するまで、継続して関わっている方も多くいらっ



しゃいます。病院院内を歩いていると、お子さま連れの方から「おかげで、母乳でいくことができました」、「母乳でこんなに大きくなりました」などと、声をかけられることもあります。中には母乳が出ない方もいらっしゃいますが、お母さま方の思いに耳を傾けながら、寄り添って関わるようにしています。お母さま方が相談にいらして、ほっとできて、ゆったりと落ち着いた気分になり、何でも話することができる、そういった「母乳育児相談室」を目指しています。

ニューフェイス紹介

10月より入職いたしました、地域医療連携室の垣内穂奈と申します。

地域医療連携室では初診の患者様のご予約を取らせていただいたり、セカンドオピニオンの受付などさせていただいております。

医療機関で働くのは初めてですが、よろしくお願いいたします。



はじめまして、地域医療連携室の桑田寿美と申します。市内中区に在住で、24歳の娘と23歳の息子がおります。去年7月には孫が生まれました。おばあちゃんも1年生、職場でも1年生で日々新鮮な気持ちで様々な経験をさせて頂いております。医療機関で働く事は初めてで、毎日が勉強です。まだまだ 皆さんに、ご迷惑をお掛けする事が多いと思いますが、1日も早く仕事に慣れお役に立てるように頑張りますので、ご指導よろしくお願いいたします。



11月22日より、総合患者支援センターに配属になりました、看護師の中濱可奈子です。配属を機に、病棟・外来の看護師をはじめ、ソーシャルワーカー、薬剤師、事務の方、ボランティアの方など、色々な方と接する機会が増え、新たな発見の毎日です。患者さんの「どう生きていきたいか」という思いを大切に、患者さんやご家族の意思決定支援に関わっていきたくと思っています。よろしくお願いいたします。

